

住み慣れた地域で暮らし続けるために 地域を守り、元気にする取組が始まっています!

日野郡では、今後急激に人口が減少し、小規模集落の維持などの課題が顕在化する中、日野郡3町と日野振興センターでは、住み慣れた地域で元気で安心して暮らせる、持続可能な地域づくりの取組を支援しています。昨年度から始まった二つの新たな取組を紹介します。

この取組を活性化し、みんなの食堂に発展することを目指し、活動をしています。



むらづくりカフェの新設(日南町阿毘縁地区)

★地域みんなの集いの場づくり・健康維持・地域内外の交流拠点づくり
団体：あげそげカフェ実行委員会

阿毘縁地区にあった唯一の商店の閉鎖で、地域の集いの場を失ってしまったため、地域の高齢者が気軽に立ち寄り、井戸端会議の場として、あげそげカフェを昨年6月10日オープンしました。月曜から金曜までカフェを開いていて、週1回は健康体操を実施し高齢者の元気づくり、健康づくりにも一役かかっています。また、ときどき移動販売が訪れ、高齢者の買い物支援の場ともなっています。



【取組の声】集いの場・高齢者の健康づくり・見守り・買い物支援を含め、いつでも立ち寄れるみんなの集いの場ができました。これから、高齢者を支える活動の拠点として活用を進めます。

集落再生システムの構築(日野町諏訪集落)

★竹林伐採による景観整備と活用によるコミュニティビジネス
団体：諏訪自治会

諏訪集落では、昨年度集落再生システム構築事業への取組をきっかけとして、集落にはびこる竹林(景観悪化・生活に支障・耕作に支障)を何とかしたいとして取組を始めました。

竹を伐採し、集落の美しい里山の景観を取り戻し、伐採した竹は竹炭、竹パウダー、竹細工など地域の特産品化する取組を始めています。

今後、特産品づくりの実践と研究を重ねてコミュニティビジネスを進めていこうと思っています。

【取組の声】地域の課題となっていた景観整備を始めることができました。竹炭や竹パウダー、竹細工の特産品づくりの夢が一歩進みました。

この取組を始めたことで、地域の一体感や連携がより一層強くなりました。今では、みんなが集まり「わいわいがやがや楽しくやっています。」



日野振興センターでは集落支援の仕組みづくりのほかにも様々な地域づくりの支援を行っています。ぜひお気軽にご相談ください。

日野振興センター 電話：0859-72-2080 FAX:0859-72-2072



写真写真

タイトル：心いやす楽園「木谷沢渓流」
撮影者：日野町 松本 利秋 氏(写真会ひの)
撮影者コメント：大樹が生い茂る沢を、曲がりくねり音をたてて流れる清流。沿って散策道も整備。木漏れ日が苔むした岩草を照らし、鳥のさえずりも。ここは国立公園大山(ブナ林を水源)から流れる木谷沢渓流(江尾から12km・旧エバーランド奥大山付近)。散策は木陰で夏でも涼しく、自然に親しみ心をいやす楽園だ。樹木には名前が付けられており、嬉しい限りです。近くには、大山からの恵みの地下水を汲み上げて江府町営を始め、サントリー天然水奥大山工場など4社が操業しています。